2014.04

FIXUS

間仕切り棚
フィクサス

取扱説明書

必ずお読みください

南海プライウッド株式会社
本社　〒760-0067　香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人体への損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。**特に 安全上のご注意 は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。
(※1)傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。
(※2)物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

「してはいけない」を示します。

「必ず行なっていただくこと」を示します。

安全上のご注意

製品の品質劣化や人体への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

必ずお守りください

警告

● **製品に乗ったりぶら下がったりしない。**

棚板が落下し、けがをするおそれがあります。

注意

● **棚板に不安定な状態で収納しない。**

不安定な物を収納すると、地震等の際に落下して物が破損したり、けがをするおそれがあります。

● **耐荷重の目安値を必ず守る。**
(「耐荷重の目安値」をご参照ください)

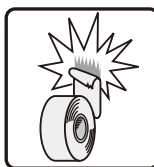
耐荷重の目安値

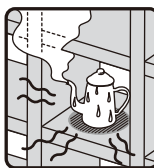
パーツ	耐荷重の目安値
固定棚板 可動棚板	**50kg**
ガラス棚板	**5kg**

数値は目安値であり、品質保証値ではありません。

ご使用上のお願い

● **製品に直接水をかけない。**

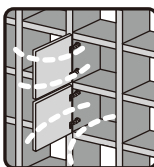
表面化粧のはがれや反りの原因となります。水がこぼれる可能性のある物を収納する場合はあらかじめトレイなどをご利用ください。

● **粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。**

表面に粘着跡が残るおそれがあります。

● **棚板に熱い物を置いたり、製品の近くに熱源を置かない。**

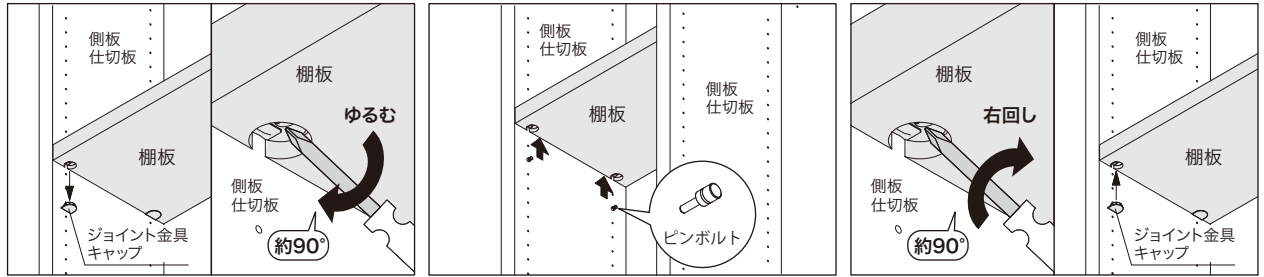
製品の反り・割れ・変形の原因となります。

お手入れ

● **日常のお手入れ方法**
乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● **汚れがひどい場合**
中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、良く乾燥させる。

● **開扉・背板(背面が壁)のある場合は換気をする。**
収納内部には湿気がこもりがちになり、結露やカビの発生原因となるため、時々内部の収納物を出し、充分な換気を行なってください。

棚板の位置を変える

［棚板（木質）の場合］

❶ カバーキャップを外します。
棚板4カ所のジョイント金具をドライバーでゆるめます。

❷ ピンボルトを好きな高さのダボ穴に4カ所差し込んだ後、棚板をピンボルトに取り付けます。

❸ 棚板のジョイント金具4カ所をドライバーで右回しで締めます。ジョイント金具キャップを取り付けます。

［棚板受の種類］

ピンボルト

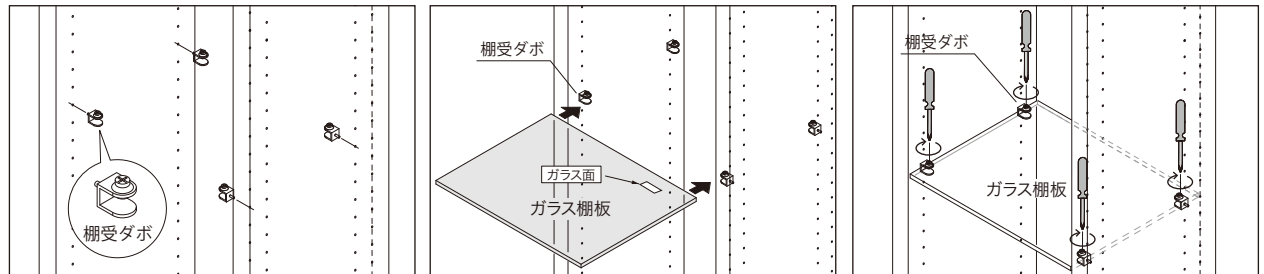
可動棚を設置する場合に使用

ジョイント金具シャフト

固定棚を設置する場合に使用

ご注意

固定棚板を一度設置すると、可動することはできません。
固定棚板を設置する場合は、よく位置をご確認の上設置してください。

［ガラス棚板の場合］

❶ 設置したいダボ穴に、棚受ダボを4つを高さが同じになるように取り付けます。

❷ 取り付けた棚受ダボに正面から、「ガラス面シール」を上面にしてガラス棚板をスライドしてはめ込みます。

❸ それぞれの棚受ダボのネジをプラスドライバーで閉め、ガラス棚板を固定します。

ご注意

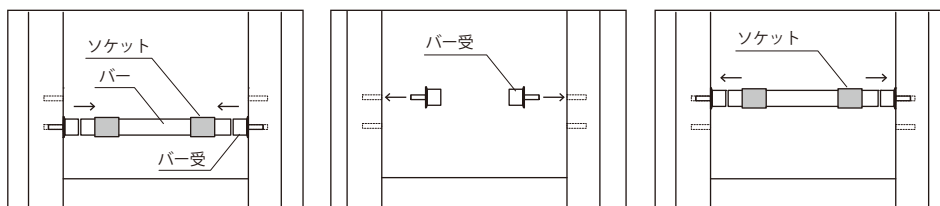
棚受ダボはネジ部分が上にくるように、隙間なくしっかり差込んでください。

ご注意

ガラス棚板は必ず「ガラス面」シールが上面にくるように設置してください。

ご注意

電動ドライバー不可。

落下防止バーの位置を変える（W375/785の場合のみ）

❶ バーのソケットをそれぞれ中央にスライドさせ、バー受から取り外します。

❷ バー受を抜き、好きなダボ穴の位置に取り付けます。

❸ バー受に、バーをあてがい、ソケットをバー受までスライドさせます。

ご注意

W1195の場合、中吊金具で固定されているため、位置を変えることができません。